

## 運動会に向けて はじめの一步

5月31日の運動会に向けて、学校全体が動き始めました。各クラスでは赤白のチーム分けが、学年では競技や表現の学習が学年体育として始まっています。先日は、体育館から元気のいい音楽が流れてきて、「おや、始まったな」と嬉しく思っていたら、授業を終えた担任の先生が「子どもたちのノリがよくて!」「すっごく踊れます!」と、笑顔いっぱい話していました。子どもたちは、楽しく踊る中でリズム感や俊敏性を高めていくと共に、友だちと息を合わせる心地よさを感じとっていくことでしょう。

運動会や音楽会など学校行事は、学校の職員も含め、出来栄のよさに気持ちが向いてしまいがちです。もちろんそれも大事です。ですが、それ以上に大切にしたいのは、「その行事を通しての子どもたちの育ち」です。子どもたちが楽しく表現することや、仲間と力を合わせて競い合うことを通しての育ちを、学校の教育活動としてきちんととらえて参りたいと思います。



写真でご紹介したのは、昨日行われた全校体育の様子です。校庭のコンディションが悪く体育館での活動となりましたが、元気よくラジオ体操をしました。

体育主任から「見本となる理想的なラジオ体操」として動画が示され、全校みんなで動画を見ながら取り組みました。ご経験があたりかと思いますが、ラジオ体操を全力でやると相当疲れますよね。久しぶりに「全力ラジオ体操」をして息が上がりました。子どもたちも指先を伸ばして、お手本のようにやろうとしていました。動画も効果的でしたが、子どもたちの視線はステージ上で模範をする職員に向いていたようにも思います。

ラジオ体操は、東小運動会の風物詩です。当日ご来校いただければ、ぜひ一緒に「全力ラジオ体操」をしませんか。思わぬ心地よさを味わうことができるかと思います。